

# ICTを活用した浸水対策施設運用支援システム

実証事業実施者 : (株)NJS・広島市・日本ヒューム(株)・(一社)日本下水道光ファイバー技術協会 共同研究体  
実証フィールド : 広島県広島市江波地区(排水区面積:329ha)

## 実証背景

- 局所的集中豪雨の増加や都市化の進展による都市浸水被害の頻発
- 正確な降雨予測や管内水位の把握がなされていないことによる経験頼みのポンプ運転

## 目的

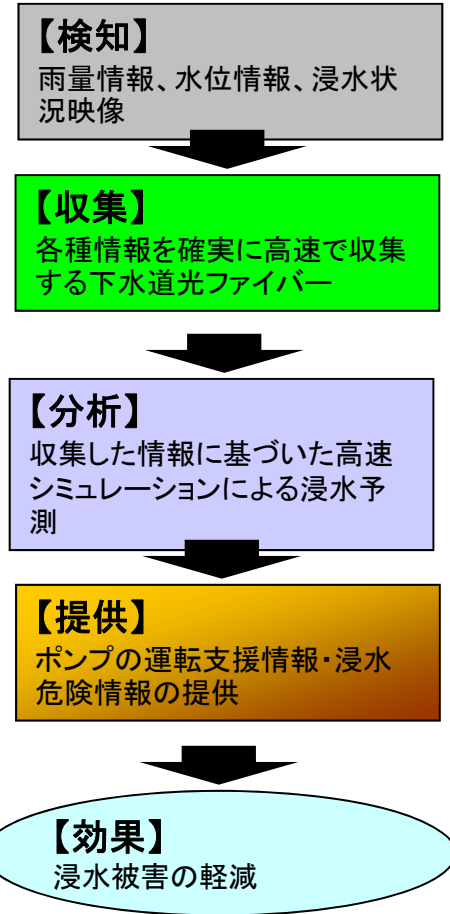
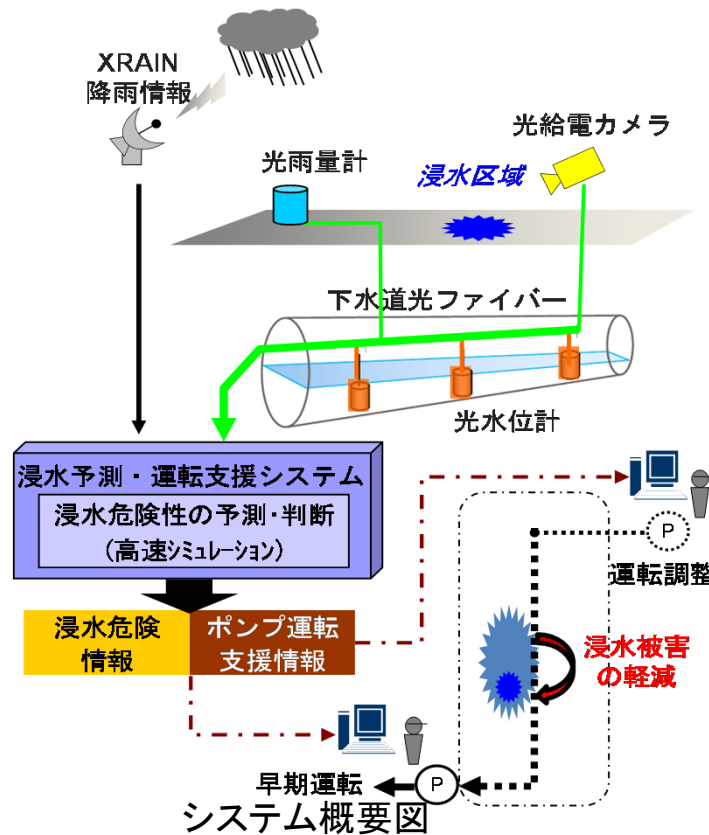
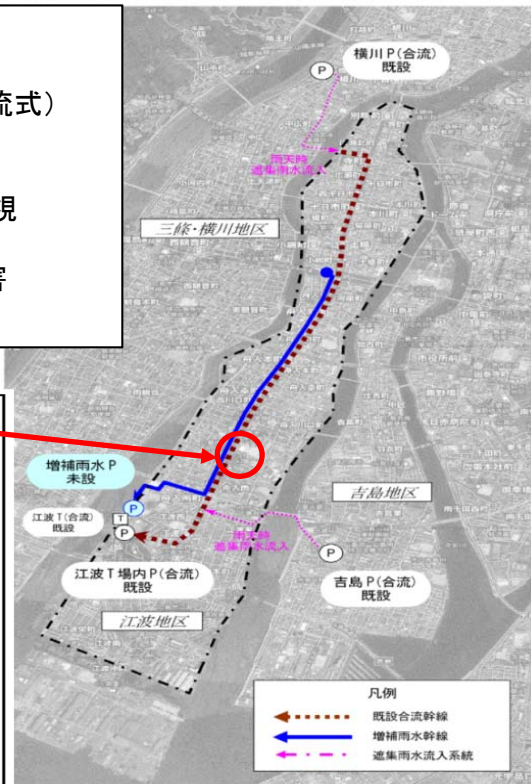
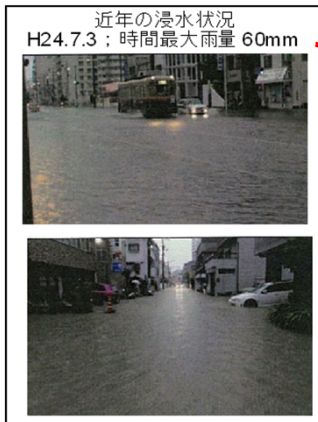
- 既存浸水対策施設の効率的運用による浸水被害の軽減

## 実証の概要

- 降雨・水位等情報の検知・収集・分析・提供に関する個別技術を統合化したシステムを構築
- 本システムによる浸水被害軽減効果を実証

### 実証フィールド

- 広島県広島市 江波地区
- 排水区面積:329ha(合流式)
- 現地の抱える課題:
  - ①雨天遮集時の浸水
  - ②増補雨水幹線の水位監視と適正な雨水排水
  - ③超過降雨による浸水被害の軽減



## H26年度の実績

- 施設(計測機器、情報監視設備等)設置完了
- システムの試験運用(情報収集・管内水位予測等)を開始